

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年10月 福島県立医科大学医学部小児科学講座 細矢光亮

【研究課題名】福島県における重篤小児患者の施設間搬送の実態と課題

【研究期間】2020年10月（倫理委員会承認後）～2023年9月

【研究の意義・目的】

本邦では1～4歳までの死亡率が先進諸国と比較して高く、その要因の1つとして小児集中治療室（pediatric intensive care unit：PICU）の不足が指摘されてきました。重篤小児患者を小児集中治療施設に集約化し、安全で質の高い医療を提供することで患児の予後を改善することは国内外から多数報告されており、本邦でも近年整備が進められています。

重篤小児患児の集約化には搬送体制の構築が重要で、小児はその生理学的特性や臓器予備能が少ないことから急変しやすく、搬送には危険が伴いやすいという特徴があります。安全で円滑な搬送体制の構築には、搬送時に起こりうる有害事象とその原因を分析し、関連医療機関が互いに情報共有しながら、事前に準備と対応策を講じることが肝要です。しかし、本邦における重篤小児患者の搬送に関連する有害事象をまとめた報告はほとんどなく情報が不足しています。

本研究は、福島県における施設間搬送時の医療介入を要した事象を明らかにすることで、円滑かつ安全な搬送システム構築の基礎とすることを目的としています。

【研究の対象となる方】

2017年4月1日から2020年3月31日までに、福島県内の医療機関から当院へ転院搬送され、みらい棟5階PICUもしくは救命救急センター、きぼう棟ICUに入室された16歳未満の患者さんを対象とします。

【研究の方法】

対象となる患者さんの診療録から搬送情報と臨床情報を、個人が特定される情報を削除して収集します。対象の患者さんを、搬送中もしくは搬送後に医療介入を要した群（介入群）、介入を要さなかった群（非介入群）の2群に分類し、月齢、性別、搬送方法、搬送中の気道管理、搬送時間、時間帯、病態などが医療介入と関連しているかを評価します。評価には統計学的手法を用いて比較検討を行います。

【研究組織】

（所属） （職） （氏名）

	所属	職	氏名
研究責任者	小児科学講座	教授	細矢 光亮
研究分担者	小児科学講座	助手	齋藤 康
研究分担者	小児科学講座	准教授	橋本 浩一
研究分担者	小児科学講座	講師	陶山 和秀
研究分担者	小児科学講座	助教	渡部 真裕
研究分担者	小児科学講座	助手	柳沼 和史

【他の機関等への試料等の提供について】

ありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 齋藤康
電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578
E-mail:yasu-s@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 齋藤康
電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578
E-mail:yasu-s@fmu.ac.jp